

輯有三

化關

大日本往來

後篇

中



特31

443

21
1-1

南陽府

茅五伯者國六郡みづのくにのくにみそ河みづの

村久米ハ橋汗ハ會見日むらひくめはやせりあせりあふ

其多也其多二十一万八そのいん

千石則因幡の西みそ河ちとせはすまのら
三方山さんぽう土と地ち厚あつく水みづ

二二二

方海より東に臨む素より
 属を國より出羽越路
 了美古らげ高海多
 口中ふとたなく名なる或
 大山や雲より後身る輪霧

山西ふ日松川東より橋
 津川に流まあり其産
 物を鐵毛絲熊の膽藥
 種鮑厨年
 茅六出雲國十郡より為

和神門秋麻楮隨出處
飯石仁多夫原能我意
宇等也其言世八万石元
和江能島和和知は所主紀
城並地取南方山多々備

後國脊令まゝく左右も
伯耆石見也北海面横
里岬湾数々生中又長
大湾も雲伯の入海
了出等より三保ヶ関乃

神社^{しんじや}何^{なに}里^りと國內^{こくうち}大^{おほ}湖^{うみ}ニテ
 変^かり^りて^て神^{かみ}在^あ湖^{うみ}なる^{なり}六
 里^ろ沼^{ぬま}廻^{まわ}一^{ひと}里^り十^{じゆ}四^し丁^{てい}之^の穴^{あな}道^{みち}
 湖^{うみ}生^な園^{えん}廻^{まわ}十^{じゆ}二^に里^り二^に丁^{てい}の^の余^あ
 地^ち味^い風^{ふう}俗^{ぞく}と^と力^{ちから}厚^{あつ}く^く

樹^{しゆ}林^{りん}子^し菜^{さい}紫^{むらさ}花^{はな}後^ご甘^{あま}く^く生^な
 産^{さん}物^{ぶつ}ハ^ハ強^{つよ}木^き絲^{いと}織^{おり}菜^{さい}草^{くさ}
 種^{くわ}人^{じん}冬^{ふゆ}海^{うみ}川^{がは}魚^{いさな}類^{るい}多^{おほ}蟻^{あま}
 燭^{そく}若^わ和^わ布^ふ貝^{かい}藻^{そう}散^{さん}有^あ里^り
 名^な勝^{しょう}と^と柁^{せう}築^{ちく}築^{ちく}の^の大^{おほ}社^{しゃ}日^ひ出^で

寄^こる津^つ佐^さ方^{かた}の浦^{うら}重^{おも}垣^{かき}
村^{むら}又^{また}八^や重^{おも}川^{がわ}子^こ祖^その^の濱^{はま}也^{なり}
素^そ戠^{とく}の河^が尔^に錦^{にしん}の浦^{うら}子^こ智^ち
の^の多^た其^{その}他^の芳^{ほう}跡^{せき}と^と多^た
茅^ち七^{しち}石^{せき}見^み國^{くに}六^む郡^{ぐん}ま^ま多^た。

安^あ濃^の迹^{せき}麻^ま子^こ邑^い智^ち那^な加^か多^た矣^{なり}
濃^の廉^{れん}之^の亦^{また}也^{なり}生^{せい}之^の高^{たか}十^{じゅう}八^{はち}
万^{まん}石^{せき}余^よ濱^{はま}田^{でん}和^わ又^{また}辰^{ちん}哉^{さい}也^{なり}
地^ち於^に陽^{やう}ハ安^あ藤^ふの國^{くに}將^{しょう}團^{だん}
防^{ぼう}又^{また}備^び中^{ちゆう}小^{せう}脊^{せき}枝^し令^{れい}

多^{おほく}る^く名^な國^{くに}中^{ちゆう}て^て北^{きた}海^{かい}面^{めん}小^{せう}
 細^{ほそ}長^{なが}く^く左^{ひだり}お^おも^も出^いる^る長^{なが}
 門^{かど}や^や備^び後^ごの^の國^{くに}より^{より}川^{かわ}筋^{すぢ}
 乃^{すなは}玉^{たま}内^{うち}なる^るれ^れ其^{その}他^たより^{より}高^{たか}
 田^た川^{がわ}の^の大^{おほ}河^が阿^ある^ると^と全^{ぜん}國^{こく}嶮^{けん}

山^{さん}以^もて^て多^{おほ}く^く高^{たか}は^は元^{もと}乃^{すなは}國^{くに}
 亦^{また}く^く諸^{しよ}作^{さく}相^{あひ}應^あ生^{せい}熟^{じやく}
 其^{その}海^{かい}岸^{がん}灣^{わん}門^{もん}数^{かず}も^も多^{おほ}く^く
 濱^{はま}田^た戸^との^の浦^{うら}夷^{あひ}乃^{すなは}漢^{かん}湯^{とう}の^の
 津^つ社^{しゃ}湊^{みなと}の^の地^ち方^{かた}より^{より}山^{さん}嶮^{けん}と

とる突峯並きて是ら
鉛山なり。其餘礦山數あり
多くは産物も才不
銀錫鉛鐵其石白密
半紙糸種紙生餘木林

え亦多く海藻魚塩夥
一石所ハ人丸出産の多
角山高田山は從振嶺や
形見の山湯山日著一
良の浦石見海又石見河

石見等其_レ他_レ數_レ多_レ一_レ。

茅_レ八_レ隱_レ岐_レ國_レ四_レ郡_レ一_レて海_レ。

士_レ智_レ交_レ里_レ越_レ智_レ周_レ吉_レ亦_レ也。

生_レ高_レ一_レ万_レ二_レ子_レ五_レ百_レ石_レ能_レ生_レ。

國_レ出_レ生_レの_レ北_レ中_レ一_レて_レ四_レ島_レ。

併_レせ_レ一_レ島_レ國_レ方_レ有_レ知_レ夫_レ。

里_レ郡_レ八_レ小_レ島_レ一_レて_レ生_レ國_レ廻_レ。

七_レ里_レ也_レ因_レ郡_レ西_レの_レ路_レ有_レ八_レ。

周_レ海_レ廿_レ一_レ里_レ一_レて_レ海_レ上_レ郡_レ。

中_レ此_レ島_レ沿_レ海_レ周_レ海_レ十_レ七_レ里_レ。

此三島の惣稱を陸岐
島前と云へきなり。越智國
者二郡の於廻に二十里
余十七丁。是哉名山及と稱
し々あり。出雲の二保と關

北より島々の智夫へ其後
海十四里二丁。隔き季又
島前より岨及びやまで渡
海を直徑四里三丁。氣候
は平く穀類は少く鮑海

藻類^{そうるい}又^{また}海山^{うみさん}出口^{いけぐち}品^{ひん}也^{なり}。

其^{その}產物^{さんぶつ}結^{むす}數^{かず}之^の錫^{すず}美^み和^わ

布^ぬ串^{くし}鮑^{あひぢ}素^そ板^{いた}島^{しま}相^{あひま}佳^じ

品^{ひん}也^{なり}古^こ哥^か乃^{なり}隱^{おん}岐^ぎ乃^{なり}海^{うみ}

隱^{おん}岐^ぎ淡^{たん}三^{さん}島^{しま}松^{しょう}山^{さん}鼓^こ之^の嵩^{さう}

是^{これ}当^{とう}國^{こく}之^の名^な務^む之^の土^と地^ち

風^{ふう}俗^{ふく}之^の直^{ちき}實^{じつ}之^の山^{さん}陰^{いん}道^{どう}

八^{はち}箇^ご國^{こく}皆^{みな}國^{こく}中^{ちゆう}之^の畢^{へい}也^{なり}

有^あ也^{なり}。

山^{さん}陽^{やう}道^{どう}八^{はち}箇^ご國^{こく}山^{さん}陰^{いん}道^{どう}

脊セ合あ多ハ々セ 全ゼン地チ南ミナミ海ウミ茂シ

常ネ比ヒ北キタ々々山ヤマ岳ウケ隣ツラナ峯ミネ

第ダイ一イチ播ハ磨マ國クニ十ジュウ六ロク郡クニ明メイ石シ

美ミ囊ナ加カ古コ印イン南ナン多タ々々可カ加カ

東ヒガシ加カ西セ神カミ东ヒガシ神カミ西セ饒ニギハヤヒ东ヒガシ

播磨舞濱の景
 子孫



饒西楫東楫西志穂佐
 用完粟也其高六十
 五葉石解元姫路の飾
 磨縣此處の歴史を記す
 於南の滄波帯公丹波

攝津西へ加言

川市川宇都川の三河は

水利能く風土暖和

地味厚く雹霰少く衣

食之る風俗畿内より畧

似たり其産物も弥本糸

米穀塩菜滑草絹糸物

揚子飯蛸野兎赤目魚

その他産物種々也

高砂や尾上乃

松小極松の室は泊中
 の清水恋の廣地や若松
 能松礫列松の舞子
 淡明石の浦はほのぐ
 芽まゝん答の灘をいぬ名

所芳蹟はと多
 才二英作國十二郡東南
 條東北條西々條西水條
 条少條条南條徒南勝
 北大尾生共崎英野吉野

亦也其言二十六万石余也
 條縣小廳茂密く地形偏
 前の北より其地山陰
 山陽に六ヶ國とて色々
 山はよりて土地多く。四

方嶺岳圍繞其り風少く
 寒強く。水断陰霧多く
 一々字本跡又おる密し
 言えし五穀大小豆餅糖
 作も豊熟す久人森山

乃奥より一河を川を
 尾摺の山留まり福後里。
 末と備前の山へ流す
 て出る大河阿河津山川
 と倉敷へなぐれ末と

備前のなる西大寺へ海
 の其余より一河阿河又
 河名え二河あり。風俗
 文明のよの好民多く
 賭物の法務員凡を行

もるも。現今更々改帰は

と我々其産物の品々米

大小豆、鮓、燗、燗、燗、燗

竹、帆、柱、材、梨、栗、其、余

品、多、く、名、変、り、久、米、の

四、山、小、う、ね、で、の、表、増、回、の

池、其、他、後、醍、醐、天、皇、乃

茅、路、等、を、し、受、て、よ、あ、李

茅、三、備、あ、は、郡、も、く

西、往、津、高、赤、坂、船、名、梨

之当國之北方又山連
之禮之高山如之田園多
之其作より多利
之土地深之氣候暖
和之其地其他境之
物是

熟成其人氣能活使
之言語亦或之相似
之其產物ハ米雜穀生
絲之本物番地類醬
油尾印部燒三石蠟
石海

鱈魚塩率海月鰓枝初
めし海川魚類夥し。
此處より獲地も昔備津
宮牛窓見崎瑜珈の山
蘇戸の後と名をまゐるし。

茅四備中國十一郡上房。
阿賀哲多河上小田後
月都宇下道賀陽淺
口産屋等也其高世六
万四千石小田和陸茂並

自北取備其結西して
向も海より入りて
嶼三十七名あり北は作
や地は橋一其中央の
河筋ハ玉嶋沖へながれ

尖り。全國田圃多し
所隔長く是より伯
者境田畠いさる山あり倉
敷ととも備前より水路
十里の江あり是れ備前

乃社と備あたる者吉備
津能宮と其間十丁ふ
しと國界と其宮の邊
と宮内とてふ事無味
好里ふしとて同く板倉

連なる事あり。松山足守庭
瀬梅川倉敷連なる函玉崎
笠岡船倉戸群據して。
其産物茂取粥南其品
とて米雜穀船本孫類

鐵漆墨乃表行李紙
品々等出產す。年候備
あよ等しくて風俗從
前あ藩の版圖存す小
教難し各領下民爭

訟の存置一裁よ必能し
了自然く風儀乱行し。
名漢由徒衆如し。カ新
政おに定まりて風よ草
葉の麤より。なる順伏

一現今と学校建設
励業社他に務むる者
らんとす。

才五備及は十四郡沿隈
津津おぬ品治芦田津

石西調査證三器三上奴
可甲怒三次恵之祖也

其高世二万二千五百石余
出老國と脊合せと東
と備中西の方お蕪國

地杖接（陽ハ凡ク海岸

あり沖又二十四峰あり。

國內江の川東北へ流程

了石見能國よの又葦田

川乃海社何と東山疆

山多く全地回圃あり

了氣候平和早熟月。

名産産雜穀木綿鉄魚

の表衣行李編笠烟子

保命酒名々名も佳品

也尾道鞆の海灣に爲

舶集ふ漢也

才六お藝國八郡より

沿田佐伯豊田山形を

加茂安藝言の田也其

高世二業石廣嶋村に

茂並地佐備及の西

了石見の國と脊合せ

あり南を凡て海行

伊豫の國と對峽を其

間島興以多角其買一

百三十二其大なるに能く

島周囲約拾二里の余其

他群島沿を塞ま潮

乃満干死ぬ又以て山

吹めりり鼻がほおんど。

其迫門何事そ急流す。

全国気候平穏と云

穀船作豊熟は生也

山海く良材多く伐出

海色塩齋比多^た。

風俗柔^わ和^わ泥^ね厚^うま^まく^く学^{がく}

風等^{ふうとう}く^く行^{おこな}い^いる^るの^のそ^その^のま^まま^まあ^あ

古^こ物^{ぶつ}本^{ほん}孫^{そん}紙^し類^{るい}多^たの^の袍^ほ

水^{すい}晶^{しょう}石^{せき}燭^{しやく}燭^{しやく}海^{かい}魚^{ぎょ}廣^{ひろ}嶋^{しま}

蛸^{たか}西^{せい}條^{じょう}柿^{かき}木^き出^{しゅつ}名^な以^い此^こ國^{こく}

小^{せう}名^な高^{こう}又^{また}伊^い都^と幾^{いく}島^{しま}百^{ひゃく}

八^{はち}軒^{けん}の^の廻^{まわ}廊^{らう}宮^{みや}殿^{でん}沙^{しゃ}滿^{まん}

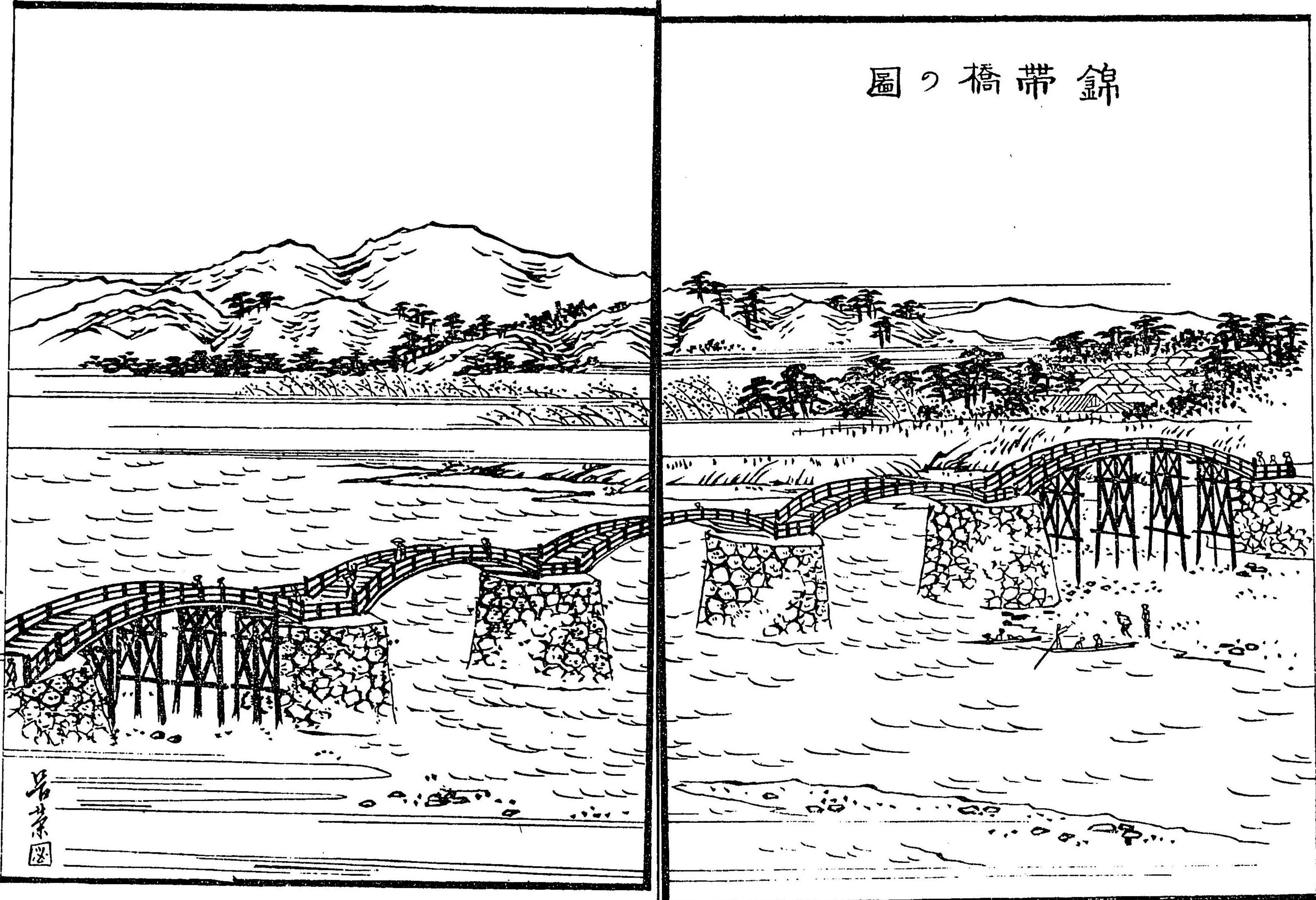
木^き本^{ほん}ま^まを^を極^{ごく}下^げの^の水^{みづ}の^の

早^{めづ}く^く海^{かい}中^{ちゆう}に^にる^ると^と恰^{ちや}也^や

湧中一如くよく実よ
 無雙の秀り親い彼の洞
 庭ふみかたなるまゝ岳陽樓
 へ及びて我々の宮
 崎ら其園廻七百里二十

丁余五十九間と測量に
 主余舊蹟数多有り
 茅七周防國六郡より
 初濃玖河吉敷佐波
 熊毛大牟田也生高四

錦帯橋の圖



上
五
十
八

岩波
図

十九万石山口縣廳哉

置地位藝州の西也

長門結玉地枝接也

南才海の赤石海上

郡嶼の数多く大崎郡

乃大島は内廻九里十石

室津の港より東岸す

平郡島々其内海七里

一十九丁也生余大小総

計る。一百二十九石也

候平和よ物産の中にも

向る佳品多く同く本

錦猪布は宗洩等も物

や糸又海も岩玉乃

錦川又架後止錦番

橋も名も高し生糸錦

光数多し

茅八長門玉六郡も高

皇浦大津美和石厚狭見

高阿武等也生糸高四十

百石余地於東入石州。

國防國尔地成界公余

乃三方の海峯をて西北

儉山多くあると折当國

を本州の地續き西結

禰少くも西海道を其

國と對峯存す。檀の浦也

豊前なるも戸後岬と

相距事僅く海上七ノ丁。

海布州の瀬戸と相稱

（潮勢急ぐ激流を志

関ヶ原より小倉津へ至

航海三甲子してその岩

流島と次を南ヶ瀬廻

弘島をへとすより平珠

満珠乃二島より南小あ

及志とよ其数九十九

島ありと折し此迫戸を

内國乃北海航路要地

多く下の関より高船の

船を盡くす。舟橋を鯨
 類に夥し。年候は平
 和。土地は豊く。人亦ありて
 義又固し。生物産は米
 煙草。石炭。磁器。硯石。

其餘種々出品。是れ山陽道ハケ國畢
 り。夫れ大木州中央
 の陸地沿海。周圍ハ一
 九百六十一里。二十八丁五

拾五間と測量す。

南海道より、伊予國紀伊

内、淡

路、四國八重山より

第一紀伊、七郡より

伊都、形賀、名草、海士

有田、日高、牟婁、等也

其高、四拾四万石、余、紀伊

の、紀伊、若山也、地位、北方

小山、多く、大和、河、多、又

境果一東ハ倭勢久
地枝接申南ハ本州中
央の霧南ハ渺茫
をる。蒼海天ハ接する
と眸中更ハ雄嶽のな

く沙の岬ハ角先の如く
南ハ東出北西岸行ハ
阿波國ハ向對ハ
海路ハ群島ハ百三十
一魚鱗言ハ影ハ全

國深山以多南

智山家より名

瀑布ハ觀望の腸

想ひせる北より

山多く重なる樹木森

茂して疎に密柑茂

殖ま紀の川芳お

ま南より流る日高川

其餘南方川と

候なり暖國と名産

密柑 柿 木 萩 熊 笹 鯨
木 萩 徳 弥 糸 紋 羽 鱈 鮫
梳 本 地 漆 海 藻 萩 香
櫛 糸 萩 柴 萩 粉 川
醋 醬 油 西 瓜 漬 其 他

種々 出 品 名 目 名 録 名 譽
る 和 香 の 浦 次 上 の 松 香
無 川 高 野 玉 川 加 田 社
浦 其 余 泡 石 名 数 多 有 里
茅 二 淡 路 國 二 郡 一 郡 一 郡

三原津名木也其高九
万八千名其國阿波の東
北又長之蔓之島國
之國海三十九里
東乃禰之山岩屋の迫

戸播州明石へ相距る
一里一十六丁之瀬乃
満干急瀬より南有由
良社山禰より北侍の
加田へ五里山より西道

戸海中二島阿る泥嶋
と南方羽舞沖小園
廻二里余結小島と多
初漁戸海業は生西の
方名をふる阿波の鳴

門を赤松北を播磨
と對岸をた等候泥和
は地味厚く天也茂る
耕作は折苗也日
の本の第一物生能國

みくへく 舊跡名簿数々

あまし人 筆事集初よ学

木の屢聞ゆ海人衆一

まらやま産ハ米廻系用若

尾石魚類也